

# 「あし」の 静脈瘤は手術した方が いいんですか？



広島通信病院 外科部長

杉山 悟 著

## はじめに

足の健康は若さのバロメーターです。昨今は健康ブームで、シヨキングやウォーキングをされている方も多いのではないのでしょうか。ふくらはぎのマッサージで若返ったという方もおられるかもしれませんが。

でも、ふと足をよく見てみたら、年とともに静脈が浮き上がってきて、少し気になってきた方も多いと思います。

下肢静脈瘤は成人女性の四人に一人が持っていると言われるとても頻度の高い病気です。病気と言うよりも、人間が生活する上で普通におこる現象と言った方がいいたかもしれません。小さな静脈瘤なら五〇歳を越えたらほとんどの方が持っていることでしょう。もちろん全員が治療対象となるわけではありません。でも、下肢静脈瘤のつらい症状に悩まされる方はとても多く、とくに罹患率が高いとされる女性にとって、美容上の問題も含め、大きな関心が寄せられる病気であることは間違いありません。

## 「あし」の静脈瘤は手術した方がいいんですか？

実は二〇一四年という年は下肢静脈瘤治療にとって歴史的な年でした。新しい血管内治療機器が次々に認可され、これまでよりも痛みの少ない治療ができるようになったからです。これまでの「手術のあとは痛いものだ」という常識を覆して、みんなの悩みを吹き飛ばすことに成功した素晴らしい医療機器の登場です。とにかく、術後の痛みが少なくなりました。そのことを知ってか知らずか、治療に関する患者さんの問い合わせもとても多くなりました。

私は、毎日多くの下肢静脈瘤の患者さんに会い、診察や検査・治療をしています。外来診療していると、よく患者さんから

「私のいまの状態は手術をした方がいいんですか？」

という質問をされる場合があります。その日初めて会った患者さんの『治療をすべきかどうか』という命題に対して即座に判断しなければいけないわけですから、けっこう難しい質問と言えます。

実際、私のところを訪れる患者さんは、治療をすでに決心して来られる方も多く、いきなり手術を前提にして話が進むことが稀ではありません。治療を安心して受けていたためには、その説明をちゃんとしなさいといけないと思うので、ついつい手術方法などの説明が主となり、「そもそも手術をすべきなのか？」という話がおろそかになっていると自分でも思うことがあります。

そんなとき患者さんに、

「そもそも私は手術を受けた方がいいのでしょっか？」

と、質問されれば、はっとわれに返って、

「ああ。その話がまただった！」と、反省させられます。

そこで、手術を受けるべきかどうかという質問に答えるために、病気の成り立ちから治療までをいろいろ説明しようと思つのですが、実際にはあまりゆつくり話す時間がありません。本当はもっとじっくりお話したいのに、ただでさえ待ち時間の長い病院で、次から次に受診される患者さんひとりひとりに多くの時間は到底取れません。もっともいろいろな質問にも答えたい。

「それなら、自分の考えていることを、文章にして読んでもらおう」

診察室に入る前の待ち時間で予習的に読んだり、聞き洩らしたことをあとで詳しく読んだりしてほしいと思い、この文章を書き始めました。

外来での患者さんとのやり取りを思い描きながら書きましたので、診察室に入って来られたつもりで読んでください。表題の「あし」の静脈瘤は手術した方がいいんですか？」をはじめとして、多くの疑問が解けるはずです。治療をする決心がついたり、それを考え直したり、治療方法が決まったあとの手引き書になったり、人に治療を勧める根拠になったり、いろいろな場面で役に立ってくれることを願います。

普段の外来では説明しきれないこともたくさん書いています。だから少し分量が多くなってしまいました。診察室では、あまり訊けない根本的な質問や

## “あし”の静脈瘤は手術した方がいいんですか？

素朴な疑問も解けるように回答しているつもりです。また、私が静脈瘤の治療に際してどんな思いを込めているのかか、「あし」の静脈診療から見えてくる健康への思い、人生観なども含めて、常々思っていることも知っていただければと思っています。ご自分の症状と照らし合わせながらお読みいただき、適切な治療を受けられ、より幸せな人生を送ってくださることを祈っています。

もし、この本を読んで、あてはまる症状があることがわかり、「思い切って静脈瘤の治療を受けて、若返ってやろう」と決心される方があれば嬉しい限りです。

二〇一五年一月

杉山 悟

## 第1章 ■ 下肢静脈瘤って なに？

- ▼ あしの静脈が浮いてきた——これが下肢静脈瘤？……………10
- ▼ 静脈瘤は弁の異常？——静脈の構造について……………12
- ▼ 静脈瘤のある足がむくむのは、なぜ？……………14
- ▼ 静脈瘤になりやすいって、どんな人？……………16
- ▼ 放っておいたらどうなるの？……………20
- ▼ 治療した方がいいのは、どんな人？……………24
- ▼ まちがった「常識」「報道」——深部静脈血栓症・肺血栓症の話……………25
- ▼ 下肢静脈瘤を治療するのは何のため？……………27

## 第2章 ■ 下肢静脈瘤の症状って どんなの？

- ▼ 足が疲れやすい……………32
- ▼ 見た目が悪い……………34
- ▼ 立っていると足が棒になる・足が腫れる……………35
- ▼ こむらがり（足がつる）……………37

第3章 ■ 下肢静脈瘤の検査って なにするの？

- ▼ かゆい…………… 39
- ▼ 熱感がある・冷え症である…………… 40
- ▼ 生理の時に痛い…………… 41
- ▼ 膝が痛い・腰が痛い…………… 42
- ▼ なんとなく違和感がある…………… 44
- ▼ とくに症状はない…………… 45
- ▼ 血栓が詰まるのが心配・突然死されると言われたので心配…………… 46
- ▼ 急に静脈瘤のところが硬くなって押さえると痛くなった…………… 47
- ▼ 血管に沿ってチクチク痛む・静脈瘤が破れて出血しないか心配…………… 48
- ▼ 肌の色が茶色に変色してきた…………… 49
- ▼ 傷ができて治りが悪い…………… 50
- ① 超音波検査…………… 52
- ② 今はほとんど行われない静脈造影…………… 54
- ③ 空気容積脈波検査（APG）…………… 55

コラム

医療難民を救え！

## 第4章 ■ 下肢静脈瘤の治療って どうするの？

- ① 手術療法 ..... 61
- ② 血管内治療 ..... 62
- ▼ 最新の治療——二〇一四年に時代が変わった ..... 64
- ③ 硬化療法（注射療法） ..... 67
- ④ 弾性ストッキング ..... 68
- ▼ 下肢静脈瘤の治療プラン ..... 69
- ▼ 治療全体の流れ ..... 70
- ▼ 治療の合併症 ..... 73

### コラム

夢が現実になった！ ..... 76

## 第5章 ■ 下肢静脈瘤の治療 素朴な疑問あれこれ

- ▼ 手術で静脈がなくなったら血はどこに行くの？ ..... 78
- ▼ 弾性ストッキングはずっと穿いてる方がいいの？ ..... 79
- ▼ 静脈瘤は治療しても、またなるの？ ..... 82
- ▼ 治療したら、仕事は？ 運動は？ お風呂は？ ..... 83

第6章 ■ 静脈と人生論・幸福論

- ▼ 治療の値段は？……………84
- ▼ 足を揉む健康法は正しい？——むくんだ足の治療法……………85
- ▼ 足が赤くなる・足が腫れる——静脈瘤以外の病気は？……………86

- ▼ 女性の一生と静脈瘤との戦い……………90
- ▼ もう年だから治療しなくていい？——七〇歳は治療適齢期です……………91
- ▼ きれいで健康な足が笑顔を作る……………92
- ▼ 楽しい人生を送るために……………93

- ▼ あとがき……………95